

2002  2003

No. 1

2002. 7. 1

Governor's Monthly Letter



2002-2003年度RIテーマ
慈愛の種を播きましょう

目次	PAGE
1 ラタクル会長の紹介	1
2 RIテーマとラタクル会長の所見	2
3 ガバナー・メッセージ	4
4 前田直前ガバナーへの謝辞	5
5 識字率の向上について	5
6 本格採用されたDLP制度について	6
7 第1回ガバナー補佐連絡会議	8
8 OA化についてお願い	9
第2640地区ホーム・ページの紹介	9
別枠掲載のお知らせ	9
2004-2005 年度ガバナー・ノミニー推薦のお願い	10
ガバナー事務所だより	10

Rotary International District 2640

国際ロータリー2640地区 ガバナー

小島 哲

1. ラタクル会長の紹介

RI会長の紹介

B h i c h a i R a t t a k u l

ビチャイ ラタクル 氏

タイ、バンコク、トンブリ・ロータリー・クラブの
チャーター・メンバー

2002-03年度	国際ロータリー会長
1993-93年度	RI国際大会委員会 委員長
1990-92年度	国際ロータリー理事
1991-92年度	理事会 執行委員会委員長
1985-86年度	ロータリー財団管理委員



ビチャイ・ラタクル氏は、バンコクと香港で教育を受け、バンコクのラムカムヘーン大学、ならびにカリフォルニア州のケンジントン大学で政治学の名誉博士号を取得しました。

1969年よりタイ議会の議員として9回の任期を務め、民主党の指導者、外務大臣、副首相、下院の議長および委員長を歴任しています。また、国連に多数のタイ代表団を送り込んでいます。ラタクル氏は国際協力タイ親善代表です。

ラタクル氏はボーイ・スカウト タイ連盟の名誉副会長でもあります。ラタクル氏は、対汚職委員会、麻薬取締委員会、全国監査委員会、および第13回アジア・オリンピック組織委員会の委員長を務めました。

ラタクル氏は、これまでにタイの国王から最高位の栄誉、日本の天皇、フィリピン、韓国、オーストリア、ニカラグアの大統領から数々の勲章を受賞しています。

1958年にトンブリ・ロータリー・クラブの創立会員になって以来、地区ガバナー、国際協議会討論リーダー、委員会委員ならびに委員長、財団管理委員、国際ロータリーの執行委員会委員長を務めてきました。ラタクル氏は国際的な人道的および教育的プログラムの支援を称えられ、ロータリー財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞しています。現在は、外交関係グループの委員長で、2002-03年度に国際ロータリーの会長を務めます。

ラタクル氏とラタクル夫人には、3人の子供と5人の孫がいます。氏の楽しみは園芸、ゴルフ、読書です。

2. RIテーマとラタクル会長の所見



ビチャイ・ラタクル会長の クラブ会長へのメッセージ

クラブ会長の皆様に心から歓迎のご挨拶を申し上げます。皆様は生涯でも屈指の遣り甲斐のある経験、報いが豊かで挑戦の多い一年をこれから始めようとされています。皆様お一人お一人が各自のクラブを効果的に導くのに役立つ独自の能力を持っておられます。皆様の中には組織力の優れた方やコミュニケーションに長けた方がいらっしゃるでしょう。また、迅速な決断力のある方も居られれば、仲裁の上手な方もいらっしゃいます。貴方の長所がなんであれ、皆様は一つ重要なものを共有しておられます。皆様はリーダーとしての奉仕と云う奉仕への呼びかけにお応えになったのです。ロータリーのリーダー・シップ・チームに加わろうとされている皆様を、私はチームの主要プレイヤーだと考えています。各クラブの会長として皆様は先達の固めた道を進まれます。この道で障害に出会われてもその挑戦を受けて立つための努力を惜しまれないことと期待しております。私達が奉

仕しているのは私達一人一人に非常に大切に貴重な大義のためだと云うことを何時も覚えておいて下さい。

クラブ会長に選任されることは非常に名誉なことであり、名誉には大きな責任が伴います。2002-03 ロータリー年度に皆様のクラブは必要な指導と援助を皆様に期待するでしょう。皆様は今年度に向けて皆様自身の希望と夢に溢れておられます。しかし同時にクラブにとって最高の年にして欲しいと会長に期待を寄せる同志クラブ会員の希望や夢を導く役目も担っておられます。皆様が人類への奉仕と云うロータリーの長年の伝統を継承し更に拡充するためには、クラブをあげての支援が必要となります。会員全員の熱意と参加を得てのみ、これを達成することが可能です。

こう云うわけで、私はトップ・ダウンではなくてボトム・アップ型のリーダー・シップを求めるのです。来年度クラブが何をするかは各クラブが独自に決定します。クラブにと

って何が適切で良いことかを一番よく知っているのはクラブ会員だと信頼するからです。皆様の計画を御提出下さい。皆様が約束を果たされる限り会長賞を受賞されることでしょう。クラブが先頭に立って行動すべきです。なぜなら奉仕団体と云うロータリーの正しいイメージを一番良くかもし出すのは地区ガバナーでも理事でも国際ロータリー会長でもなく個々のクラブのその会員だからです。私がお願いすることはただ皆様が目標を設定する際になるべく簡潔なものにすると云うことです。国際ロータリーと財団を通して私達には非常に大くの素晴らしいプログラムがすでに開かれています。新しいプログラムの創出に私達のエネルギーを消耗する代わりに既存のプログラムへのロータリアンの参加拡大に力を注ごうではありませんか。2002-03年度の私達のテーマ「慈愛の種を播きましょう」を如何に実践するかを皆様と皆様のクラブが決めるのです。このテーマの実現が可能となるのは今年度全てのロータリアンがロータリー奉仕の喜びを直に体験する時だと私は思います。例えば、子供に読み方の個人指導をする、食料奉仕サービスの倉庫に食料品を積む、人々にコンピューター技能を教える生産的な仕事につけるようにする、などの奉仕が考えられるでしょう。子供が貴方に向って本を朗読するのを聞く時、空腹な人々に自らの手で食料を配る時、そして貴方が自立の手助けをした人々の笑顔を見る時、その時初めてロータリー奉仕の真の喜びを貴方は知ります。ロータリアンとして私達は国の顔をより親切なものに、世界の顔をより柔和なものにしたいと思っています。皆様はこの国際機関とその理念に深遠な誓約をなさいました。高価な物質ではなく、より良い心と魂がもたらす静かな深みのある成功を祝うことによってロータリーの約束を成就する道に皆様がクラブを導かれるのです。2002-03ロータリー年度にはボトム・アップの管理スタイルの故に、ク

ラブ会長の皆様こそクラブ支援の真の柱です。世界本部から作業、目標、割り当てのリストが送られることはありませんから、皆様のリーダー・シップがとりわけ重要になります。貴方の行動と貴方の言葉がクラブの雰囲気左右するのです。優秀な指導者は模範によって導くと私は心から信じています。貴方御自身が慈愛の種を播くことによって私達が人道的奉仕の豊かな収穫に預かることは間違いありません。皆様のクラブで慈愛の種を播くことが出来ます。皆様の暖かさと友人らしい親しさがクラブに参加と熱意を盛り上げるような雰囲気を作ります。皆様のクラブ会員とその家族、彼等の夢、才能、仕事について出来る限り多くを知る様に務めてください。皆様の職場に慈愛の種を播きましょう。職場での高い道德基準というロータリーの理念を強化して下さい。競争ではなく協力を求めて励んでください。皆様の地域社会に慈愛の種を播きましょう。クラブ会員の技能と才能を活用する有意義な奉仕プロジェクトを開発しましょう。クラブ会員が各自独特の種を播ける機会を作して下さい。ロータリアンが自ら個人的に豊かに与える時、この慈愛がすばやく育ち、豊かに実るのです。世界に慈愛の種を播きましょう。ロータリアンとして問題を抱えた世界に慈愛を広げる機会があるのは大変幸運なことです。研究グループ交換チーム、ロータリー・ボランティア、国際親善奨学生、その他のプログラムを通じて私達は大海や国境を超えて慈愛の種を播くことができます。慈愛の種は頑強です。どんな気候でもどんな土壌でも育ちます。ある種はきっと豊かな準備の整った土壌に落ちるでしょう。これらの慈愛の種は直ちに根を張り、すばやく育ち、それ自身の慈愛の種を播き広げます。なかには固い地面に落ちる種もあります。これらはさらに耕すことが必要です。慈愛、誓約、行動によって育めば、2002-03年度に私達は豊かな人道奉仕の実りを刈り取るのです。

3. ガバナー・メッセージ

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 小島 哲



ラタクル会長夫妻と(国際協議会)

クラブ会長、幹事そして会員の皆様、新しい年度が始まります。ぼんやりしていても1年、努力しても1年であります。「心残りな思い出」をあなたの人生に残さないよう頑張ろうではありませんか。

私も望むところではないにしろ、この年度のガバナーをお引き受けした以上、全力を尽くすこととお約束致します。今年1月末からの国際協議会、6月のバルセロナでの国際大会を経て、いよいよ本番の第一歩を踏み出します。大過なく年度をまっとうできます様、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年度のテーマは

「慈愛の種を播きましょう」

であります。分かり易いテーマですから、解説の必要はないと思います。ラタクル会長はさらに、

“皆様のクラブに、職場に、地域社会に、世界に、思いやりの種を播いて下さい。そして「種を播く」こと即ち「手を差し伸べる」のはクラブであり会員の皆様であります。どのような活動をすればクラブが活性化するのかはクラブの皆様が一番よく御存知のはずです。私はト

ップダウンではなくボトムアップで事を処したい”

とおっしゃっています。

これには感激致しました。クラブの責任は重いかも知れませんが、RI会長等の上から命じられた事柄ではなく、クラブで判断された活動をお願いしたいと思います。地区の委員会は、クラブの活動がスムーズに運ぶようお手伝いをさせていただきます。従って、地区の目標等は作らないつもりであります。再度申しますが、活動目標については「各クラブで独自に御決定願います」

当2640地区は外部からの評価では素晴らしい地区であります。会員の皆様のお一人お一人が「この素晴らしい地区のロータリーに入会していて良かった」と思って下さる様にクラブの活動方針を決めて頂くことを切に希望致します。

ロータリーの活動はそれに携わっている方々が楽しめなければ意味がありません。何年前前にありましたテーマ「ロータリーを楽しもう」を思い出して、今年こそそれを実行しようではありませんか。

来年の今ごろ、「昨年度の活躍」を祝って皆様と共に美酒で乾杯できますよう、ご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

4. 前田 孝道 直前ガバナーへの謝辞

ガバナー 小島 哲



前田直前ガバナー、1年間ご苦労様でした。各委員会は勿論のこと、いろいろな地区行事にエレクトとして同席させて戴き、ガバナーとしての在り方を身をもって教えて下さいました。そのご姿勢を私の自戒の目標とさせて戴いております。

試行的実施とはいえ新しく地区に採用されたDLP制度の活用等の大任を果たされ、国際ロータリー第2640地区の全会員を代表して、心からの感謝と敬意を表し、ここにお礼を申し上げます。本格採用の年度となりました今年度は、問題なくDLP制度を取り込めそうです。

前田直前ガバナーには、ノミニーになられる前年に地区の委員をお勤めになられている時に初めてお目に掛かりました。私がガバナー・ノミニーに指名されて大変有難かったのは、地区協議会に「会長エレクト部門」を設けて下さったことでありまし

た。おかげで、ノミニーの時代に私の年度の会長さんと膝を交えて語り合うことができました。この「会長エレクト部門」は2640地区でも最初のことでありました。さらに、私の年度からE-Mail, ホームページを多用する件につきましても、OA化委員会にその旨を指示して頂き、成川PDGの年度から3年が過ぎ、FAXからE-Mailへとの変更が何とか実施できそうです。これら全て前田直前ガバナーのおかげと深く感謝している次第です。

ロータリーを離れてのお仕事も極めてお忙しいと伺っております。今後とも御自愛の上、直前ガバナー、パスト・ガバナーとして2640地区の発展のためにご貢献いただきますようお願い致します。

この1年間、ガバナーを支えご協力されました角谷泰三代表幹事をはじめとする副代表幹事、幹事の皆様、地区大会を成功裏に開催されましたホストクラブ、コ・ホストクラブの皆様にも大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、終始にこやかに私の女房を励まして下さいました奥様にも心からお礼を申し上げます、感謝の言葉と致します。

5. 識字率の向上について

水田 博史 PDG



ロータリーでは1997年度7月を最初の「識字率向上月間」と決めました。

識字率向上運動はなぜ必要なのでしょう？

「非識字率は貧困の根源であり、読み書き、計算の能力を身につけることが、貧困との闘いで最も有効なひとつである。」と、1997-98年度のキンロス元 RI 会長が云われています。現代社会において、非識字者は社会から置き去りにされて生計をすべて失い、一方貧困はさらに人々の学習の機会を奪って非識字とあいまって悲惨な悪循環を生み出しています。

人口問題は、21 世紀の重要課題であります。20 世紀初頭の世界人口は、16 億人であったと云われています。国連は昨年「世界人口白書」を発表し、地球人口が 66 億 3 千万を超えたと報告しました。2050 年には 93 億人に達すると云われ、「人口増加、人口移動、持続不可能な消費・生産のパターンが生態系に一段と深刻なつめ跡を残しつつある。」と警告しています。そして世界人口の半分がいまだに「1 日 2 ドル以下で生活している」貧困層であることを指摘し、そして「世界人口の 20% の最も豊かな層が個人消費の 86% を占め、最も貧しい 20% は、1.3% しか消費していない」という貧富の格差構造が途上国の子供や貧困層に、生活の困難と環境の更なる悪化を招いている例を数多く提示されています。この貧富の差の増大は飢餓貧困に苦しむ人々を多く作り、紛争が拡大されています。

この世界人口増加の問題の核心は、教育の不足、特に婦人と少女に対する教育であると

云われています。現在世界中におよそ 8 億 8500 万人の読み書きのできない人々があり、その 3 分の 2 は女性であります。少女に読み書きを教えることで、次の世代への低識字率が広がるのを防ぐことができるものと云われています。読み書きのできる母親は、自分の子供に読み書きを教えます。正規の学校に通えない 6~11 歳の子どもも約 1 億 1.300 万人いると云われています。

私達は、一見識字率の向上というのは私達と無関係のように思われますけれども、世界の人々の 80%、世界の非識字者の 98% は開発途上国に住んでいると云われ、そのうちアジアでは 74% を占めていると云われています。

識字率を上げるということは、その国の社会的な文化的な教育的なレベルを上げるということにつながるわけで、そういう意味では識字率というものは社会のバロメーターだというふうに考えますと大変大事なものであります。識字率の向上は、大人だけでなく、未来を背負う子どもたちにとっても大きな夢を与える運動といえます。

我々ロータリアンは、低識字率に対する認識を更に深め、これが蔓延するのを防止するために行動を更に深め、世界の貧富の解消と世界の平和を望みたいものであります。

6. 本格採用されたDLP制度について —第 2640 地区リーダーシップ・プラン (DLP) について—

地区研修リーダー 中村幸吉

当地区では、昨年度、ガバナー補佐を置くことを主体にして、試行的に DLP を進めて参りました。前田直前ガバナー、そして初めての仕事に取り組み

れた各ガバナー補佐の尽力のお蔭で、クラブにも違和感なく受け入れられ、地区全体の運営にも良い効果をもたらしております。これの推進に当たられた

水田パスト・ガバナー共々たいへん喜んでおります。



さて、世界的に地区組織が肥大化し、運営に円滑さを欠き、ガバナーが本来のクラブの活動、そして奉仕に直接的にリーダーとしての役割を果たし難くなってきている、との認識のもとに、国際ロータリーが地区組織の全般を改善するために開発したのが DLP であります。したがって、ガバナー補佐を置くということだけではなく、地区組織全般を同時に見直す必要がありました。しかし、昨年度は、試行的実施の段階であり、地区の運営に混乱を起こしてはならないという判断から、地区組織そのものには手を付けませんでした。

本年度、正式に DLP を採用するに当たり、小島ガバナーはロータリー章典（第 17.020.1 項～第 17.040.4 項）に則り、自らの手で当地区の状況に即した独自の DLP を考案し、成文化されました。すでにペッツ、地区協議会において発表されておりますが、この第 2640 地区 DLPこそ、地区運営の全体の改善を盛り込んだ本来の目的に添った DLP であり、いよいよ、その実施が始まります。

その骨子は、次の 3 項目であります。

1. 公式訪問の多様化

昨年同様、複数以上のクラブによる合同例会にガバナーが公式に訪問しますが、並行して、都市連合会 (IM) の折りにガバナーが公式に訪問することが試みられます。国際ロータリーは、ガバナーがなるべく大勢のロータリアンの集まる会合で公式訪問するよう推奨しております。IM は、この意味では最適の会合と考えられます。調整しなければなら

い問題が多くあると思いますが、関係者の工夫によって成果の上がることを期待しております。

2. 地区委員会の機能分け

詳細は、すでに地区協議会の各部門で発表されておりますが、クラブ主導と地区主導に大きく地区委員会を区別します。本来、すべての奉仕活動は、ロータリアンによる、クラブを主体にしたものであります。地区独自の奉仕は望ましくありません。したがって、これまで慣例的に、或いはその専門性から、あたかも地区が行っている奉仕と受け止められ勝ちであったほとんどの地区委員会を、クラブが行う奉仕活動を地区がサポートするという本来の姿に、すなわちクラブ主導に戻すことにしました。専門的な知識、情報の必要な委員会、たとえば青少年活動、財団、米山などの委員会は数人の委員がおられますが、他はほとんど委員長のみとなりました。そして、財務、情報規定などが、その機能の上から、地区主導の委員会と位置づけられました。

3. 地区運営の効率化

もう、すでに実施が終わっておりますが、地区協議会を部門別に日程を変えて行いました。これは、クラブの役員すべてに、直接、話をしたいという小島ガバナーの強い意向により実施されたものです。他に例のない画期的なことであると同時に協議会開催経費が約半額ですむという予期せざるメリットも生んでおります。その他、月信のホームページ掲載、メールの活用など、いわゆる地区運営の効率化も新 DLP の適用があつて始めて活かされるものと考えております。

以上、地区運営の改革ともいべき新しい DLP について、その概要を説明しましたが、地区のロータリアンの皆様のご理解を戴き、この一年、小島ガバナーを先頭にして新しい第 2640 地区のロータリー活動が展開されますよう、念願しております。

7. 第1回ガバナー補佐連絡会議

2002年6月9日(土) テクスピア大阪



[プログラム]

12:00～13:00 登録受付

13:00～15:20

開会挨拶 (小島DG)

運営方針 (小島DG)

退会防止 (亀岡PDG)

ガバナー補佐の活動について (水田PDG)

15:20～16:20 ガバナー補佐打合せ会

16:20 閉会挨拶 (小島DG)

[出席者]2002～03年度

ガバナー	小島 哲
パスト・ガバナー	水田 博史
パスト・ガバナー	亀岡 弘
ガバナー・エレクト	前窪 寛志
ガバナー補佐	16名
地区幹事	4名

7月から始まる新年度に向けて、ガバナー補佐間の打合せおよび情報交換を目的として開催されました。

冒頭、小島ガバナーより、

- ① 公式訪問時のお願い
- ② クラブ委員長会議への出席要請
- ③ 会員増強
- ④ ポリオの募金
- ⑤ ブリスベーン世界大会
- ⑥ 補佐のクラブ訪問回数
- ⑦ クラブ報告書の提出

などについて協力依頼や説明がありました。

続いて、亀岡パスト・ガバナーから、

- ① 各補佐の担当クラブの会員増強、会員維持への協力要請
- ② RIの会員数の数え方
スタートカウント、エンドカウント、
日単位の数え方、月単位の数え方、
期首の会員数の数え方(人頭分担金との関係に留意!) etc.

- ③ 会員増強報告書および報告手順

などについて、詳しい説明がありました。また、前窪ガバナー・エレクトからも補足説明がありました。

水田パスト・ガバナーより、

- ① 退会防止
 - ② 会員数25名以下のクラブへ指導
 - ③ ロータリーの原点、理念の希薄化
 - ④ クラブ主体のロータリー活動の強化
- などのお話がありました。

この後、3グループに分かれて、小島ガバナー、亀岡、水田両パスト・ガバナー、前窪ガバナー・エレクトを交え、打合せおよび情報交換、意見統一を行いました。この席で、ガバナー補佐の仕事、公式訪問、ガバナー補佐訪問、会員維持などについて活発な意見交換があり、新年度に向けて意を新たにしました。

(地区代表幹事 高寺 寿)

8. OA化についてのお願い

今年度は

ガバナー事務所 → 各クラブ

の連絡は ホームページ で行います。2640地区のホームページから「2002-03」に入って頂きますと、「お知らせ」があります。この中に、開催される会議等の御案内と出欠の返信用紙が PDF ファイルで掲載されています。これを、アクロバット・リーダーでプリントし、出欠の御返事はその用紙をFAXして頂くことになります。お知らせの各項目には連番を打っておりますので、何番まですでに見ているのかを覚えておいて下さい。従って、御返事を頂戴せねばなりませんので、クラブ事務局員さんは毎日必ず、このページを覗いて下さる様お願いします。

月信もホームページに掲載します。ホームページの「月信」から入ってください。月信もPDF ファイルで掲載されていますので、プリントアウトしてご利用ください。

各年度の月信第1号に掲載しています年間行事日程

表、主要報告先および送金先、地区組織などは「別枠」で掲載します。ホームページの「掲示板」のページから「月信別枠掲載項目」をご覧ください。

各会合の報告書は「掲示板」のページの「地区・委員会報告」に掲載します。ページ数が多いとプリントされるのにも大変でしょうから、適当な長さに分割して掲載するつもりです。必要とされるものは、プリントの上御利用下さい。

上と同様のことが、「掲示板」のページの「RIからのお知らせ」、「日本事務局からのお知らせ」に出しております。特に、幹事さんは頻繁に見て頂くようお願いいたします。

今年度のOA化委員会は、ワープロ、表計算、E-MAILの利用、ホームページのプリントアウトは各クラブで確実に行ってくださいを前提としております。



第2640地区のホームページ

<http://www.rid2640g.org/>

月信別枠掲載のお知らせ

各年度の月信第1号に掲載しています年間行事日程表、主要報告先および送金先、地区組織などは「別枠」で掲載します。ホームページの「掲示板」のページから「月信別枠掲載項目」をご覧ください。次の項目を掲載しています。

- ① 公式訪問日程
- ② IM日程
- ③ 年間行事日程表
- ④ 地区組織・地区委員会組織
- ⑤ ガバナー補佐一覧表
- ⑥ 地区委員一覧表
- ⑦ 地区予算書
- ⑧ 2640地区クラブ一覧表
- ⑨ クラブ会長・幹事
- ⑩ 主要報告書、報告先
- ⑪ 主要送金先
- ⑫ \$/¥レート
- ⑬ ロータリー関係事務所一覧表
- ⑭ ホームページアドレスのあるクラブ
- ⑮ ロータリー文庫通信
- ⑯ ガバナー事務所だより

2004～2005年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナーにふさわしい方を指名委員会宛にご推薦下さい。
各クラブからの推薦は9月20日までとなっております。

地区指名委員会 ガバナー事務所

〒 595-0062

大阪府泉大津市田中町 10-7

泉大津商工会議所会館 1F

T E L : 0725-23-7264

F A X : 0725-23-9264

E-Mail : kojima-s@eagle.ocn.ne.jp



阪口 やよい

林 佐希子

ガバナー事務所のご案内

所在地 〒595-0062

大阪府泉大津市田中町 10-7

泉大津商工会議所会館 1F

(南海本線泉大津駅下車海側徒歩2分)

電話 0725-23-7264

F A X 0725-23-9264

E-Mail kojima-s@eagle.ocn.ne.jp

勤務時間 月～金 10:00～17:00

(土・日・祝は休ませて頂きます。)

事務職員 林 佐希子 阪口 やよい